

清流 ニュ ー ズ

発行所
八王子市子安町 1-22-25
清流寺
清流ニュース編集室
電話 (042) 646-0287 (代)
FAX (042) 644-1164
<http://seiryuji.jp.org/>

令和二年度総祈願
日序上人御廿三回忌報恩御奉公成就
本年 度 教 化 誓 願 達 成
激励助行 隨喜参詣 歡喜御講奨励 之御願
一人ひとり御会式参詣將引御奉公推進

五月の御総講日

一日 併朝参詣 御修行日
七日 併朝参詣 バースデー総講
日序上人報恩祈念
十三日 併朝参詣 高祖御命日
十七日 併朝参詣 開導御命日
廿五日 併朝参詣 門祖御命日
於 清流寺
十二日 併朝参詣 高祖御遠夜
十六日 併朝参詣 開導御遠夜
廿四日 併朝参詣 門祖御遠夜
於 羽村別院

コロナウイルス感染により
日本全土における「緊急事態
宣言」発出により、不要不急の
外出が禁止されました。
そのために、当山も、政府
の方針に則りすべての御総講
を朝参詣に併修して奉修して
居ります。
したがって、御総講後の会
議も、中止されて居ります。

ご講有上人よりご諭告発令

ありがとうございます。

今般の新型コロナウイルス
の感染拡大により、政府
から全国一斉に緊急事態宣
言が発出されました。

この現状に講有上人は深
く思いを致され、惻隱の情
を以て、お互い佛立教講に
励ましのご諭告を発せられ
ました。

お互いに講有上人のお慈
悲に感謝し、ご諭告を体
し、一日も早い終息のた
め、より一層に御宝前に
お縋りさせていただきま
しょう。

諭告

新型コロナウイルスの感
染拡大により苦悩に直面さ
れている方々に對し、励ま
しの言葉を申し述べます。

この度の新型コロナウイルス
感染により、罹患され
た方々そして、数多の尊い
人命が失われたことを思う
と胸が痛みます。

謹んで哀悼の意を表する
と共に、ご遺族や罹患者の
皆様に衷心よりお見舞いを
申しあげ、一日も早い感染
拡大の終息を心よりお祈り
しています。

また、治療や感染拡大防
止に尽力されている皆様の

ご苦勞に深く思いを致し
ます。

新型コロナウイルスは、
瞬く間に世界中へと感染が
拡大し、世界保健機関が発
表したように「現代におけ
る決定的かつ地球規模の健
康危機」に陥りました。

この感染症の発症者は世
界中に広まり、立ち入りを
厳しく制限された行政施設
や病院等に隔離されておら
れます。亡くなった人の数
も右肩上がりに増え続け、
ウイルスと闘う各国政府の
対策が進むにつれ、国境は
封鎖され、学校や職場の開
鎖が相次ぎ、誰もがみな打
ちひしがれています。

こうした状況で、日本は
もとより世界の経済・社会

活動に大きな影響を及ぼ
し、不確かな情報の拡散は
人々の不安を掻き立ててい
ます。

「コロナウイルスは世間
一般のことだから仕方な
い」と宗門人がご奉公を
休んでいたのでは、当宗
も共に疲弊してしまうで
しょう。

今こそ、自分達が改良
すべきご奉公を見いだし
「非常時に強い佛立」をつ
くらなければなりません。

そして、全宗門人が「異体
同心」の祖訓を体し、なお
一層心を一つにしてこの病
の早期終息と世界の恒久平
和、一天四海皆歸妙法を御
宝前にご祈願をさせていた
だきましよう。私もまた、
本山宥清寺の御宝前で佛立
教講と共に引続きご祈願を
させていただきます。

妙法の御経力をたのみ、
皆でこの苦難を乗り越えま
しょう。

御教歌

ゆけるだけゆけとすゝむ信行に
ゆかれぬ様にならぬ御利益
南無妙法蓮華經
令和二年四月八日
本門佛立宗
第二十六世講有日良

宗門統一の ご祈願言上文と ご回向言上文

【ご祈願言上文】

新型コロナウイルス感染拡
大防止、早期終息の祈願
い。罹患者並びに医療従事
者の面々、正法歸入、罪障
消滅、身体健全にして一切
無障礙。世界の佛立教講一
同、並びに家族の面々、災
難除滅、一切無障礙ご奉公
成就の御願。感應道交哀
愍納受。

【ご回向言上文】

新型コロナウイルス罹患横
死者の諸精霊等
妙法経力 追善菩提



同帰亭要語録

御弘通の苦勞

極楽百年の修行は穢土の一日の
功に及ばず。正像二千年の弘通は
末法の一時に劣るか。是はひとへ
に日蓮が智のかしこきにはあらず。
時のしからしむるのみ

(報恩抄縮1509)

極楽というところは清浄であり、
安穩でありますから、何ものの妨

げも上げず、たとへ、百年の間修
行を重ねても極めて易々たるもの
であると云えます。然るに此の娑
婆世界は穢土と申して、人々の心
は殊に險惡ですから、此處で正法
を弘めようとすると、必ず、種々
の迫害が集まってくるということ
になります。ですから、この娑婆

の一日の御奉公は、極楽に於ける
百年の修行よりも、遙かに苦勞が
多いということです。併し乍らこ
の穢土にお題目が弘まれば、まこと
じて浄土となるわけですから、こ
で唯一日でも迫害に堪えて、御弘
通の御奉公につとめれば、まこと
に大きな功德を種まきした事にな
るのであります。仏滅後二千年の時
間、即ち正法千年、像法千年の時
は、人の心も邪惡になつていない
ときですから難にあつたと申して
も末法の世とは比ぶべきものでは
ありません。天台大師でも伝教大
師でも、死を以て脅かされるとい

うような目に遭われなかつたわけ
です。然るに末法はお経文に「恐怖
惡世」と説かれてありますように、
法華經を弘むる者には、あらゆる
危難が集まつてくることになりま
す。宝塔品には
「諸々善男子各々諦力二思惟セ
ヨ。此ハ為レ難事ナリ。宜シク大
願ヲ発スベシ」
と、示されるのであります。一
身を犠牲にしてでも仏恩に報ずる
為に、御弘通の御奉公をさせて頂
こうという決定でなければ到底堪
えられないのです。併し、苦し
みが多いだけその功德は深く、法

師品には

「応ニ如来ノ供養ヲ以テ之ヲ供養
スベシ」とまでこの決定の人をた
えられてあります。天台、伝教等よ
りも多く迫害に遭われ、それだけ
に、より多くの功德が積めたとい
うので

「法華經の肝心、諸仏の眼目たる
妙○經の五字、末法の始めに一閻
浮提に弘まらせたまうべき瑞相に
日蓮さきがけしたり。和党共、二
陣三陣つゞきて迦葉阿難にもすぐ
れ天台、伝教にも超えよかし」
(種々御振舞御書1389)

と、仰せられているのであります。

御教歌に

「菩薩とは在家出家にかゝはらず
人を助くる人をいふ也」
と示されてあり、形は人間だが、
その心は菩薩ということになります。

お互い御信者が、日々御弘通に
励んでいるのは菩薩行をしている
わけで、菩薩行をしている人は即
ちその心は菩薩ということになり
ます。

お祖師様が「二陣三陣つゞけよか
し」と仰せられてあるのは、菩薩行
に励んで、仏果の頂けるようなご
信心をせねばならぬとお示し下さ
れたのであります。